

健診で確かめよう！自分のからだ・健康を

——アンケートへのご協力ありがとうございました——

平成 20 年度の特定期健診受診率・各種がん検診受診者数、アンケートの結果（3月実施）についてお知らせします。

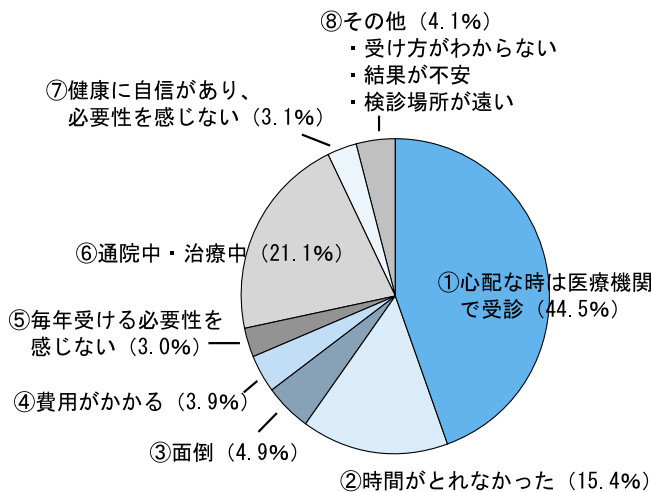
●平成 20 年度 特定期健診受診率（対象：国民健康保険）

区分	対象者：5,651		受診者：912		受診率：16.1	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
40～49歳	290	219	7	12	2.4	5.5
50～59歳	553	459	41	50	7.4	10.9
60～69歳	1,164	1,391	153	282	13.1	20.3
70～74歳	693	882	138	229	19.9	26
合計	2,700	2,951	339	573	12.6	19.4

(単位：人) (単位：%)

基本健診から特定期健診に変わって初めてとなる平成 20 年度の健診受診率は全体で 16.1% であり、若い世代になるにしたがって受診率が低くなっています。

●特定期健診を受診しない理由（アンケート結果）



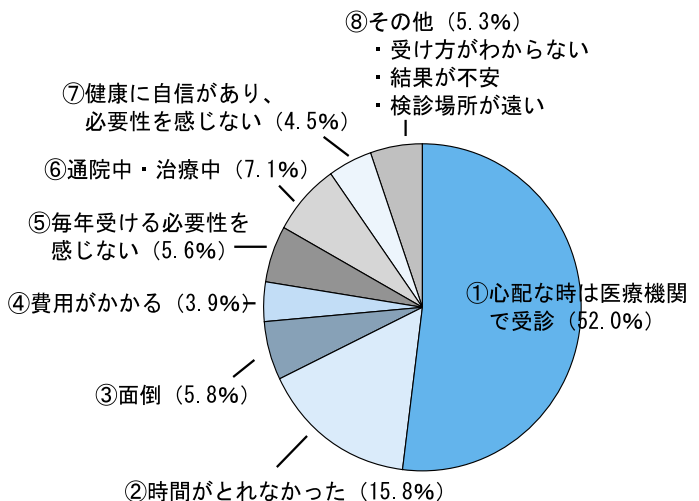
●平成 20 年度 各種がん検診受診者数

受診者	胃がん	大腸がん	肺がん
	860	1,378	2,238
	乳がん	子宮がん	
	350	281	

(単位：人)

がん検診受診者はまだまだ少ない状況です。胃・大腸・肺がん検診は 40 歳から 1 年に 1 回、乳がん検診は 40 歳から、子宮がん検診は 20 歳から 2 年に 1 回受診しましょう。

●各種がん検診を受診しない理由（アンケート結果）



◆アンケート方法

3月に送付したがん検診希望調査票に同封

◆アンケート集計数

男 663人 女 913人 合計 1,576人

特定期健診・各種がん検診ともに受診しない理由は、①心配な時は医療機関で受診が最も多く、約半数を占めています。心配な時とはすでになんらかの自覚症状を感じていることが多く、これでは早い段階での病気の予防としては不十分です。

特定期健診は生活習慣病予防、各種がん検診は、がんの早期発見・早期治療を目的としており、自覚症状がないときから自分の健康を確かめるため、定期的に健診を受けておくことが大切です。

また、少数ですが「受け方がわからない」「検診場所が遠い」などの回答もあり、今後も健診の受診方法等について検討し、一人でも多くの方に受診していただけるよう努めていきたいと思っております。

6月から、21年度の特定期健診も始まります。また各地区において各種がん検診を実施しています。健康カレンダーに日程表を記載していますので、健康管理に役立ててください。

◆問い合わせ 健康増進課 健康づくり班 ☎0820(77)5504